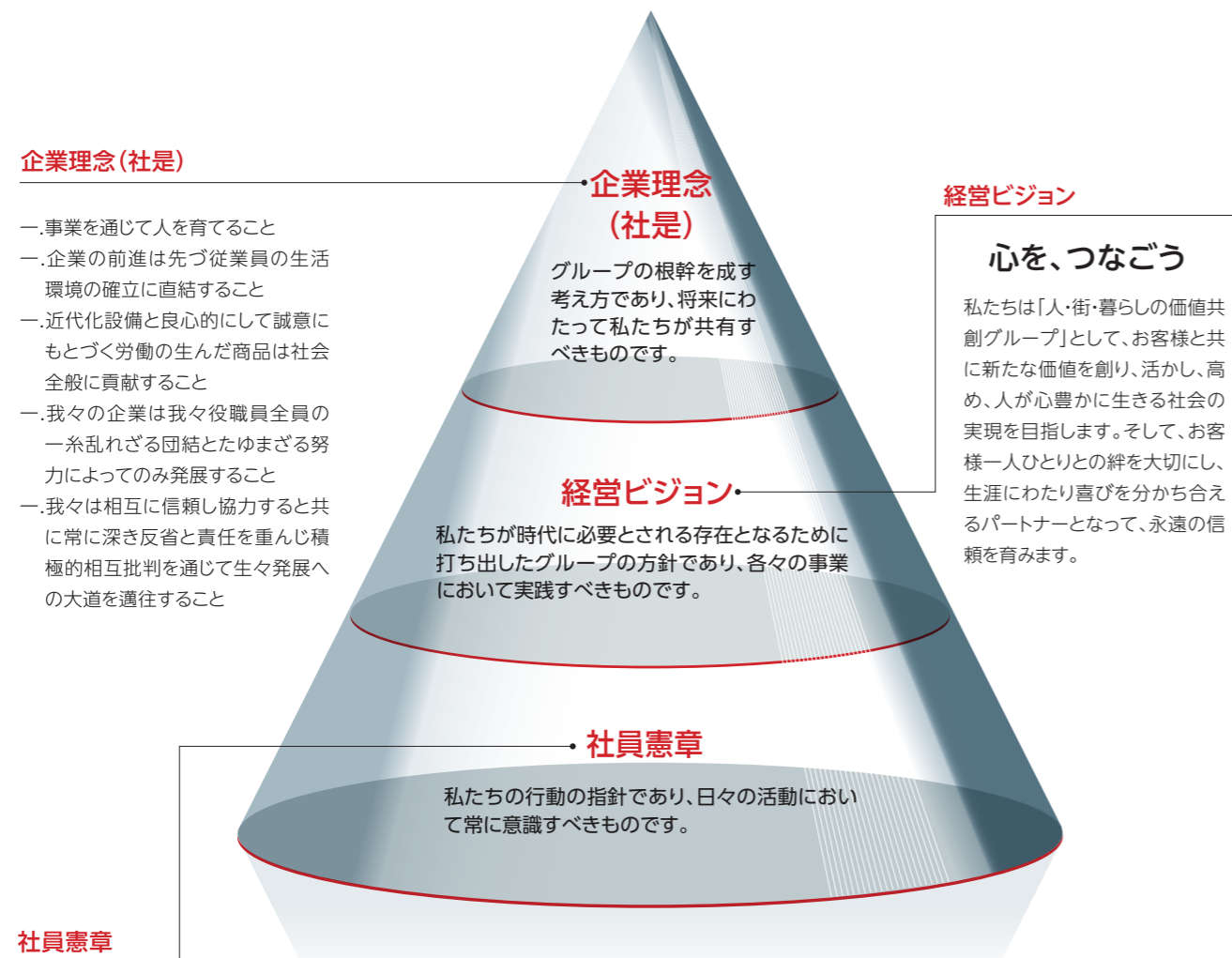


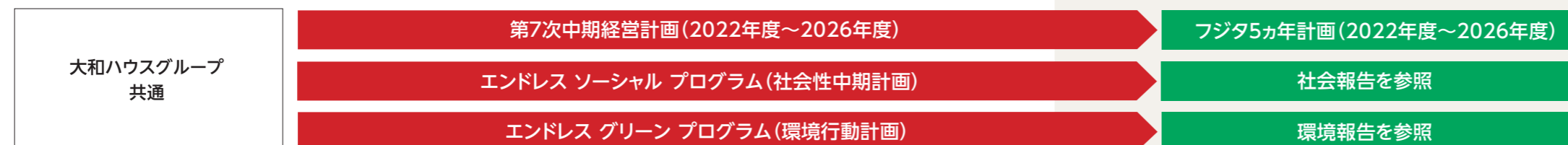
大和ハウスグループの理念体系

大和ハウスグループの理念体系は、企業理念(社是)、経営ビジョン、社員憲章の3つで構成されています。



私たちは、「人・街・暮らしの価値共創グループ」の社員として

- 一. 品質、技術、情報力の向上に努め、環境に配慮した安全で確かな商品、安らぎとくつろぎの空間を提供します。**[企業の視点]**
- 一. 誠意をもってお客様と向き合い、感動と喜びを分かち合います。**[お客様の視点]**
- 一. 社会規範に基づく公明正大な行動により、社会的評価を高め、企業価値の向上に努めます。**[株主の視点]**
- 一. 感謝の気持ちを忘れず、公正であることに努め、取引先と共に成長・発展を図ります。**[取引先の視点]**
- 一. 仕事を通じて自らの成長と幸せを追求します。**[社員の視点]**
- 一. 「共創共生」を基本姿勢に、心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指します。**[社会の視点]**



フジタの“高”環境づくり

フジタの企業理念は、「自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために フジタは たゆまず働く」です。この理念をステークホルダーの皆さまの信頼を得ながら実践していくための基本姿勢が企業行動憲章です。また建設業の基軸である安全・品質を含めて、安全・品質・環境マネジメント方針に示す取り組み姿勢のもと、マネジメントシステムを日々運用しています。当社のスローガンである「高”環境づくり」は、これらの方針を包含したもので、「顧客に必要とされる会社」を目指すフジタのCSRを表現しています。自然に、社会に、街に、そして人の心に、より高い価値を創造し提供し続けること。それがフジタの“高”環境づくりです。

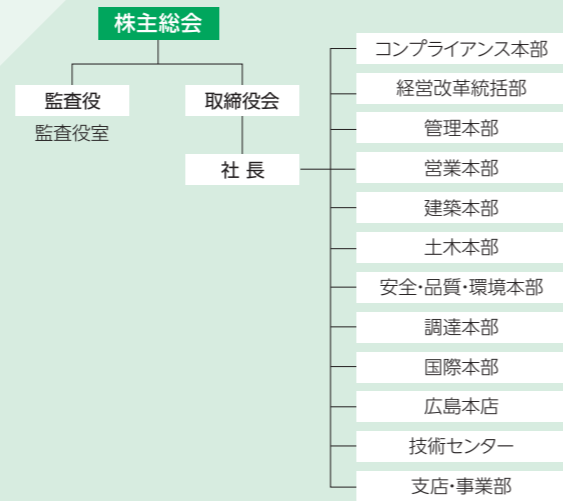


フジタについて

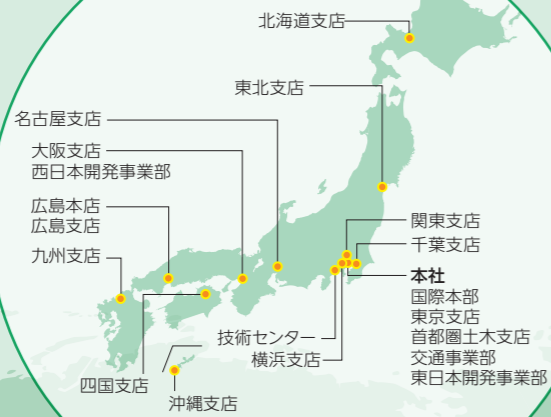
会社概要

会社名	株式会社フジタ (Fujita Corporation)	
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号	
創業	1910年12月	
設立	2002年10月	
資本金	140億円	
従業員数	3,494人* (2022年4月1日現在) ※出向者などを除く	
建設業許可	国土交通大臣許可(特-29、特-30)第19796号	
宅地建物取引業者免許	国土交通大臣(4)第6348号	
業態	総合建設業	
主な事業内容	建築・土木ならびに関連する事業	
有資格者数 (2022年4月1日現在)	工学・理学その他博士	38人
	技術士	198人
	一級建築士	660人
	1級建築施工管理技士	1,042人
	1級土木施工管理技士	782人
	宅地建物取引士(合格)	599人

組織図・事業拠点



国内拠点 (2022年4月1日現在)



関係会社

- 藤田商事株式会社
- 株式会社テクノマテリアル
- フジタビルメンテナンス株式会社
- 株式会社高環境エンジニアリング
- 株式会社ダイスネクスト
- 株式会社エフ・ティー・シー大分
- 株式会社アイテック計画

海外拠点

支店/駐在員事務所

- 上海事務所
- 香港支店
- フィリピン支店
- ソウル支店
- ハノイ事務所
- ホーチミン事務所
- メキシコ支店
- 台北支店
- バングラデシュ支店
- ドバイ支店
- インド事務所
- ヤンゴン支店
- マレーシア支店
- シンガポール事務所
- ドーハ支店
- ケニア支店
- ペルー支店

関係会社

- フジタアメリカス
- 藤田(中国)建設工程有限公司
- フジタフィリピン
- フジタベトナム
- フジタインド
- フジタメキシコ
- フジタマレーシア
- フジタタイ

- Fujita Americas, Inc.
- Fujita (China) Construction Co., Ltd.
- Fujita Philippines Construction and Development, Inc.
- Fujita Corporation Vietnam
- Fujita Engineering India Pvt., Ltd.
- Fujita Integral Mexico S.A. de C.V.
- Fujita Corporation (M) Sdn. Bhd.
- Fujita Corporation (Thailand) Ltd.

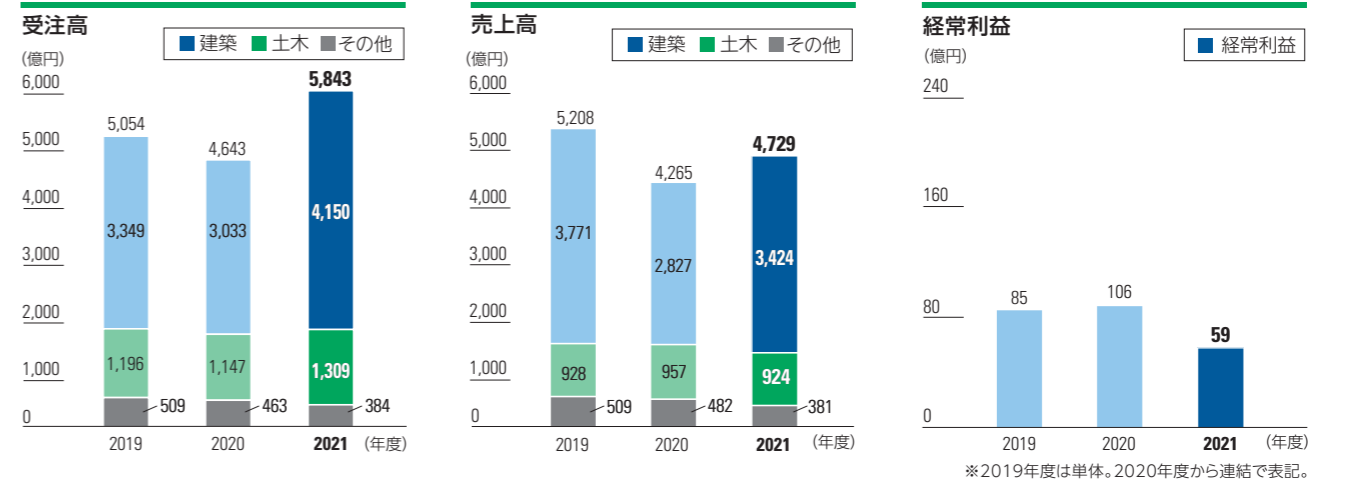
2021年度 フジタ業績報告(連結)

建設業界においては、公共投資は堅調を維持し、民間投資も国内外の経済活動の持ち直しにより、一部では回復傾向が見られましたが、原材料価格の高騰などの影響を受け、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は『“志”を高く「変革」を、変わる時代に「成長」を』のスローガンのもと、「持続成長を支える柱」[建設業を極め、新たな領域へ]「ESGを意識した経営の推進」、以上3点を重点方針として取り組んでまいりました。

経営成績につきましては、受注高は主に建築の国内民間で前期に比べ増加したことにより、前期比25.8%増加の5,843億円、売上高は、建設事業が順調に進捗したことにより、前期比10.9%増加の4,729億円となりました。

利益につきましては、開発事業などの減収にともなう減益により、売上総利益は前期比で減少したものの、間接経費の対象範囲を見直したこともあり販売費および一般管理費は減少し、営業利益は前期比21.7%増加の155億円と増益となりました。経常利益については、前期比44.0%減少の59億円となりました。



中期経営計画:フジタ5ヵ年計画(2022年度~2026年度)の策定

スローガン

変化をとらえ、強みを磨き、
地球と未来に必要な会社になる

~三本の柱~

顧客満足の
追求

業務改革による
生産性向上

ESGを軸と
した基盤整備

当社は2022年度から新たにフジタ5ヵ年計画(2022年度~2026年度)を策定しました。

本計画では提案力の強化、既存セグメントでの尖った強みの確立、開発推進による事業構築に注力して顧客ニーズに応え、海外事業においては現地化の推進など収益基盤の構築を進めます。またDX・業務改革による生産性向上や人材基盤の確立を力強く推進していきます。

環境課題については特に温室効果ガスの削減を重要なテーマと捉え、大和ハウスグループのエンドレスグリーンプログラム2026に従い、当社は2026年度に事業活動における温室効果ガス排出量(総量)の2019年度比20%削減を目指します。

また、働き方の変化による心身の健康維持について会社もしっかり関与し、最善を尽くすべく健康経営にかじを切っています。そして、ガバナンス面では過去の反省を胸に刻み、継続的教育によるコンプライアンスの遵守を徹底していきます。

フジタは5ヵ年計画の実行を通じて時代や環境の変化によりニーズが変わっても、社会や顧客に必要な会社であり続けることを目指します。

シナリオ分析

TCFDへの対応としてシナリオ分析を行い、「重要課題」を抽出しました。新たな重要課題の枠組み、それらの既存の活動との関係や位置付けを示し、フジタ5ヵ年計画(2022年度~2026年度)にも反映しています。

長期的なシナリオを示すことで、どのような社会状況に対しても事業継続対応ができるように、また変化の激しい社会と事業展開の方向を検討する材料として活用できるようになっています。

シナリオ分析で抽出した
フジタの重要課題(マテリアリティ)

4つの分野



脱炭素



災害・防災



自然資本



労働・健康